

令和3年度 第3回学校運営協議会記録

1. 日時 令和4年2月14日(月) 14:20～15:30
2. 場所 本校校長室
3. 出席者 廣木義久 委員/委員長(大阪教育大学教授)
児玉 隆 委員/副委員長(学習塾代表)
南 昌則 委員(本校PTA会会長)
※ 菊池妙子 委員(八尾市立八尾小学校長)は公務により欠席
松村康隆 委員(本校同窓会副会長)は公務により欠席
事務局(教職員): 校長、事務長、首席、進路指導主事
4. 内容

協議に先立ち事務局から次の内容について報告を行いました。

- ◇ 『令和3年度学校評価』に関する報告
- ◇ GIGA スクール構想に対する本校での取り組み
- ◇ 『令和3年度学校教育自己診断』に関する分析と報告
- ◇ 『令和3年度授業アンケート結果』に関する分析と報告
- ◇ 来年度実施の観点別評価について
- ◇ 進路状況について
- ◇ 部活動について
- ◇ 令和4年度高校入試志願倍率について

その後『令和4年度学校経営計画』について校長から説明後、協議を行い、令和4年度の学校経営に係る基本的な方針について委員の皆様から承認をいただきました。以下、協議において出席委員から出された主な意見等です。

協議における委員の主な意見等は次のとおり。

- ◇ 学校教育自己診断で学校ホームページやブログをみるという回答が低いが、生徒自身がホームページ作成に関われば、在校生もみるようになるのではないか。また生徒だけでなく、中学生や保護者も多く閲覧するのではないか。
- ◇ ホームページに生徒が登場したりすることも中学生には親しみやすいのではないか。
- ◇ SNSなどのコンテンツを利用するのも効果的であるように思う。
- ◇ 生徒と保護者の満足度が90%以上とかなり高いのは広報活動としての強みになる。中学生や保護者に向けたアピールポイントである。
- ◇ 学習塾では、高校入試への動機づけのため、中学生に調べ学習をさせ新聞などに纏めさせる取組をしているが、その際、まず気になるのは『制服』で、その次は『どの学校が楽しいのか』ということのようである。八尾高校も独自の価値を前面に出してほしい。
- ◇ 視覚的にアピールできるホームページがいい。文字はあまり読まないが、動画はよく観る。広報効果は写真より動画の方が高い。
- ◇ 中学生の保護者は進学先の高校の進路実績に関心がある。近年の進学実績向上が高い志願倍率に繋がっているのではないか。
- ◇ コロナ禍中でも修学旅行等が実施できたのは、保護者の理解があったからではないか。
- ◇ 入学者選抜の志願倍率が上がってきていることは喜ばしいことである
- ◇ ハイブリッド授業はコロナ禍の学習保障対策として優れた取組